

社会資本整備審議会 道路分科会
令和4年度 第1回 四国地方小委員会
議事概要

1. 日時：令和4年12月2日（金） 15：00～16：00

2. 場所：高松サンポート合同庁舎北館 13階 災害対策室（対面、WEB 併用）

3. 出席者

[委員長]

山中 英生 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授

[委員] ※五十音順

大西 玉喜 四国経済連合会 専務理事

倉内 慎也 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授

野々村敦子 香川大学創造工学部創造工学科 教授

畠中 智子 高知のまちづくりを考える会 代表

羽鳥 剛史 愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 准教授

4. 議事内容

(1) 四国地方小委員会及び計画段階評価について

(2) 計画段階評価 高松環状道路 寿町～檀紙町

5. 審議結果

高松環状道路 寿町～檀紙町間の計画段階評価について、委員からの意見を事務局で検討のうえ、意見聴取を進めることを了承する。

6. 主な意見

○意見聴取について

- ・回答者に求める意見として、新しい道路に対する期待なのか、既存道路の改善なのか、理解しやすいようにして頂きたい。
- ・寿町～檀紙町間の道路整備により、本町踏切のボトルネックによる渋滞が解消する、といった誤解を生じさせないように配慮して頂きたい。
- ・高松環状道路への期待についての質問も良いと考える。
- ・公共交通を利用可能な範囲の地域住民は自動車を使用しない可能性がある。配布対象範囲を高松市内外で広めに取ることで、渋滞によって困っている方達の意見を聴取できるのではないか。
- ・本町踏切は優先順位を付ける意見聴取とか、今回の評価区間とその他の区間に分けて意見聴取を行うことが良いと考える。
- ・まちづくりにおける道路の役割という視点がほしい。
- ・仮でも良いので、こんな感じの道路、の図が描かれていれば分かりやすい。

○資料全般について

- ・ 変わっていく街で道路だけが変わらなければ、需要に対して不足する部分も生じる。道路網を強化し、機能分担することは必要。
- ・ 幹線道路の交通転換や道路空間再配分と併せて、安全な歩行空間の確保は重要。さらに周辺生活道路においてゾーン30指定などで地域の安全が高まることを望む。